

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット10頁 —

3 比爪-奥州藤原氏第二の拠点- ① 中核遺跡 <小路口I・II遺跡(2)>

<前号から続く> この調査範囲の北東部分(小路口I遺跡)で、幅約8m、深さ1mの「大溝(SD34)」が100m以上にわたって直線的に検出され、大溝で区画される方形の空間が明らかになりました。この大溝SD34は比爪館を囲む「大溝」と規模、形状が類似しており、同時期の構築の可能性が高いものです。

また大溝SD34に平行して幅約1m、深さ約50cmの溝SD36が検出されており、SD34とSD36の間の空間は道路と理解される形状です。溝と溝の内法は約8mあります。このように「比爪館」の外部にも大溝で囲まれる方形区画の空間が存在し、それに平行する直線的な道路が存在することが実証され、直線的な道路や大溝で区画される都市的な場が存在することが想定できます。

《《《 6～7月行事予定のお知らせ 》》》

<p>6月12日 (日曜日)</p>	<p>第16回定期講演会</p>	<p>時間/午後2時から午後4時まで (受付開始時刻:午後1時30分) 会場/日詰駅前 紫波町赤石公民館 講師/羽柴直人氏 演題/比爪館と関連遺跡について 参加料/500円(会員200円)当日の受付で 参加申込み/6月5日までにFAXで赤石公民館 019-676-3999へ ※ 講演終了後、参加者の皆さんで「羽柴先生を囲む懇親会(会費1,500円)」を行います。参加を希望する方は、当日の受付でお申し込みください。</p>
<p>7月 9日 (土曜日) ～ 18日 (月曜日)</p>	<p>日詰駅からハイキング</p>	<p>□協力事業 主催:東日本旅客鉄道株式会社 企画/主管:一般社団法人紫波町観光交流協会 協力団体:赤石地区まちづくり推進協議会他 樋爪館遺跡ガイド等:赤石地区ひづめ館懇話会</p>
<p>7月20日 (水曜日)</p>	<p>第73回月例懇話会</p>	<p>午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者:高橋敬明 テーマ:宇都宮社の「職掌」について 発表者:平井和夫 テーマ:吾妻鏡にみる奥州平泉4</p>

- ☆ 4月の月例会は、中野宏さんが初めてコーディネーターを務めました。和やかな雰囲気の中で質問や意見が多く交わされ次回へ興味が、ますます大きくなったように思われました。
- ☆ 会員として一緒に活動してこられた田村勝則県議会議員さんが、多忙な日程を割いて参加されました。本会の関心事の一つである北上川堤防工事の現況など話していただきました。
- ☆ 羽柴直人さんの講演会は、私たちが自信をもって「比爪館跡は世界文化遺産平泉の追加登録に相応しい遺跡だ!」と言えるような公演内容・質疑応答になるものと期待しています。
- ☆ JR東日本の日詰駅からハイキングが今年も行われます。参加者の希望があれば、1日1回当会がガイドを担当することになりました。いよいよ道案内部会の本格的出番となります。

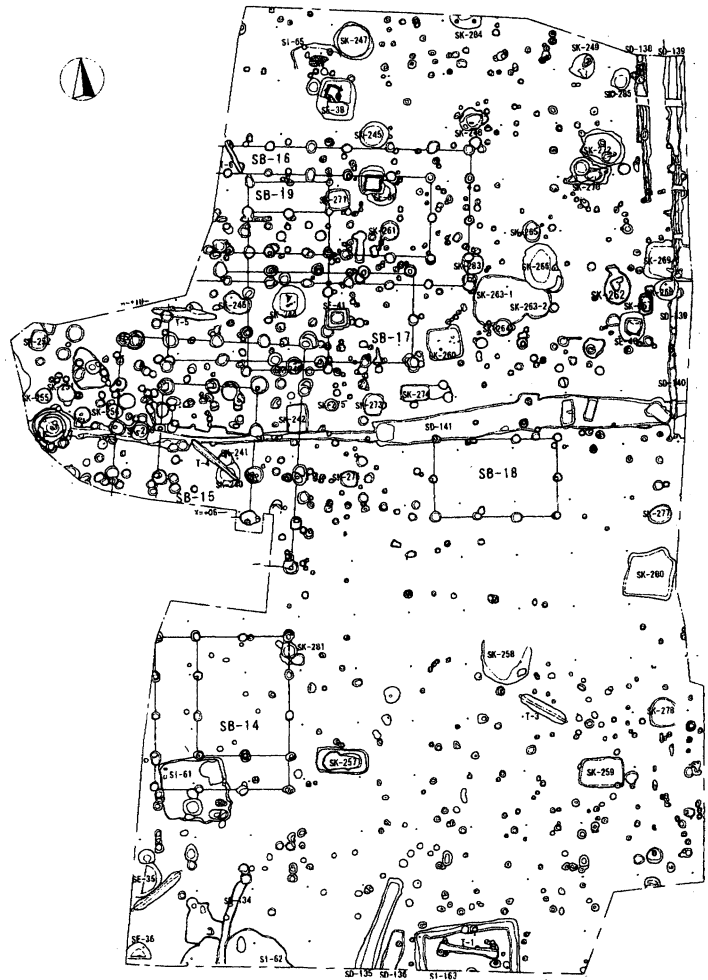
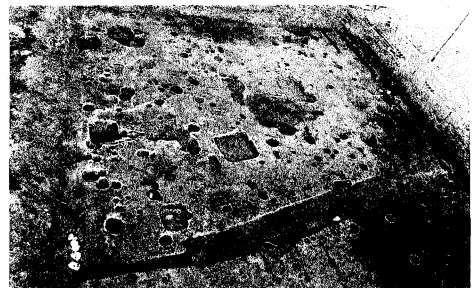
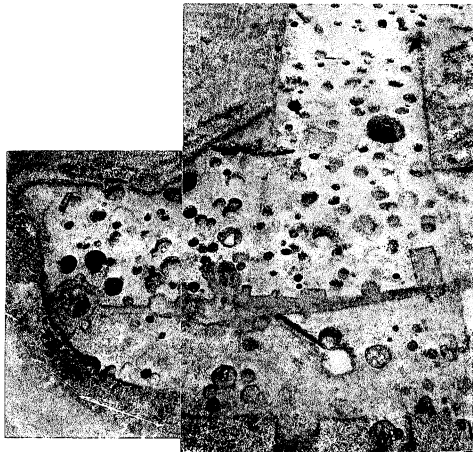
比爪館 第23次・第24次発掘調査報告書 <紫波町教育委員会(平成25年3月発行)>

II 調査の成果 1 調査の内容 (5頁)

調査の成果として報告する内容は、掘立柱建物6棟、溝跡7条、土坑43基、竪穴住居跡3棟、陥し穴6基である。

(1) 掘立柱建物 (5～18頁)

第23次・第24次の両調査区から、平面形や断面・規模などから柱穴とは考えられないものも含め、合わせて490基の小ピットが検出された。そのうち建物跡としての配列が確認されたものは6棟分、126基である。残る360基以上は、その配列関係が現時点で不明である。



第3図 調査遺構全体図

会 員 募 集 !!

若い方も年配者も、男性・女性どなたでも、初めての人でも大歓迎

◎月例発表会 毎月(講演会を行う月を除く) 第3水曜日 午後7時から9時まで 赤石公民館

◎定期講演会 年2回(6月・12月) ◎遺跡めぐり等(春・夏・秋) ◎会員研修旅行 年1回

◎関連団体と各種行事の共催、後援、協賛等

年会費 2,000円

加入申込書は、赤石公民館にあります。詳細は019-3125-3776(高橋)まで